



平成 27 年度東京地方協力本部「出陣式」



東京地本は、平成27年4月6日(月)、「出陣式」を実施した。

出陣式は毎年、年度の開始に当たり、すべての任務必成の気構えを醸成することを目的として実施している。

始めの「達磨の目入れ」では、平成26年度祈願した大きな達磨に目標達成を祝し本部長が目入れをした。続いて今年度の新たな達磨には各課室長、各地区隊長、副本部長、最後に本部長が目入れを行い、全隊員で目標達成の祈願を行った。

続く「関の声」では、各地区隊長、各課室長が、それぞれ今年度の決意を表明し、大きな関の声を上げると、当該地区隊・課室の隊員が力強く「オー」と応え、締めを飾る副本部長の関の声には、全隊員が勇ましく声を響き渡らせて応えた。

本部長訓示では、「今年度の決意表明は「名実ともに日本一の地本を目指す」である。達磨には横綱相撲と書いてあるが、横綱相撲というのは大変だ。横綱というのは負けがこむとやめなければならぬが、我々はやめるわけにはいかない。横綱相撲をするということとは、大変なんだという意識をもってやってゆこう。東京には日本の人口の10%がいて、大学については25%、経済・GDPについては20%が集中している。このことは、まさに自衛隊の募集・援護・予備自業務は我々の双肩にかかっているといえる。そういうことを自覚しながら名実ともに日本一の地本になれるよう引き続き努力をしていこう。」と述べ、「出陣式」を終了した。



新東京都危機管理監の表敬受



東京地本は、平成27年4月7日(火)、4月1日付で東京都危機管理監に新たに就任された前北方総監田邊揮司良氏の表敬を受けた。

東京都危機管理監に外部の人材が起用されるのは、前東京都危機管理監である第28代第10師団長宮崎泰樹氏に続いて2度目である。

部内施設の案内時には、平成26年7月に市ヶ谷から東新宿に移転した新庁舎内を興味深く見られ、各課室の隊員を激励された。

また部内施設案内後の懇談では、東京地本の現状について説明後、首都直下地震、東京オリンピック等今後の東京都における危機管理・募集等について意見交換を実施し、相互理解を深めるとともに、引き続き連携を強化してゆくことを確認した。

東京都からは、松尾防災対策課長、長岡情報統括担当課長が同席した。